

みなさんへ

みなさんは、二宮金次郎のことを知っていますか。のちに尊徳とも名の金次郎は日本だけでなく、世界にも知られる偉人です。その金次郎の教え報徳仕法が相馬地方で行われたこと、この地方出身の富田高慶が一番弟子であったことを知っていましたか。

この本は、小学4～6年生、中学1～3年生のみなさんに二宮尊徳や富田高慶が行った報徳仕法についてできるだけわかりやすく、しかもくわしく学習できるように作成しました。

第1章から第5章までは、尊徳のことや報徳仕法のこと、イラストや写真を多く使い小学4～6年生でも理解しやすくしました。第4章から第8章までは、高慶を中心にこの地方で行われた報徳仕法の内容やその評価について、くわしく書き、中学生になって学べる内容としました。

南相馬市では、報徳仕法をまちづくりに生かそうと取り組んでいます。この機会に大人のみなさんにも、ぜひご覧いただき、尊徳や高慶たちの足跡をたどってみては、いかがでしょうか。

この本を読む前に

この副読本は、次のようなことに答えてくれる内容になっています。

- 二宮尊徳像はどこにあるの？
- 二宮尊徳とはどんな人？
- 報徳仕法とはどんなこと？
- 報徳仕法はなぜ、どんなことが行われ、どれだけの成果があったの？
- どんな人が報徳仕法を行ったの？
- 尊徳が亡くなってからどうなったの？
- 報徳仕法から学ぶことは？
- 二宮尊徳はどのくらいすぐれた人？
- 南相馬市以外のどこに史跡があるの？
- 学校で報徳仕法を学習するには？
- 博物館には何があるの？

この本を読み終えた後、二宮尊徳・富田高慶のことやこの南相馬市で報徳仕法がどのように行われたのかがきつとわかることでしょう。また、報徳仕法が実施された日本各地のどこよりも広い地域で、長い時期に完成されたのはこの私たちが住んでいる所であるということにも気づくことでしょう。

そのようなことがわかれば、この地に住んでいた人々の努力や知恵がいかにすばらしいものであったのかわかるはず。私たちがそれらの努力や知恵を受けついでいくことは、大切なことです。報徳仕法から学ぶ「思いやりの心」を生かして南相馬市を豊かで明るいまちにしていきましょう。

南相馬市は、平成18年1月1日に小高町・鹿島町・原町市の1市2町が合併して誕生しました。東部には太平洋が広がり、西部には阿武隈高地が連なる山があり豊かな自然に囲まれ、旧中村藩主相馬家の遠祖とされる平将門が野馬を追う軍事訓練を行ったことが発祥と伝えられる、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」が毎年7月下旬に開催されており、自然と歴史・伝統のある、おだやかな住みやすい地域でした。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、沿岸部を中心に大きな被害をもたらし、多くの市民の尊い生命を奪うとともに、報徳仕法に関係する史跡も含め、大切な史跡等が流失損壊し、さらに、東京電力福島第一原子力発電所事故も加わり、市民の避難、事業所の閉鎖や撤退などにより、穏やかな生活は奪われてしまいました。

このような中、大震災発生直後から国内・海外から、心温まる多くの励ましやご支援をいただき、本市の復興に向けて大きな力をいただきました。

平成26年度に策定した南相馬市復興総合計画では「みんなで作るかがやきとやすらぎのまち 南相馬 ～復興から発展へ～」を将来像としました。この実現のためには、この地に根づく「報徳精神」の「自助」・「互助」・「公助」の理念に基づき、行政と市民がそれぞれ役割分担し、協働により復興を進めていくことが大切です。

震災後、沿岸部のガレキの片付けや除染作業など、報徳の教えにある「積小為大」のように小さな努力の積み重ねや、多くのボランティアの方々が、現在もまだ南相馬市に来て支援してくださっており、当市は、報徳仕法の本質「至誠（まごころ）」により、少しずつではありますが復旧・復興が進んできております。

最後に、復興・復旧には、まだまだ、多くの時間と労力が必要となり、原発事故の克服など、たくさんの課題があります。

将来の南相馬市を担う皆さんが、この副読本を通して報徳仕法の教えを学び「江戸時代に起きた大飢饉」を中村藩が乗り切ったように、この東日本大震災を乗り越え、南相馬市を復興・発展に導いてくださるようお願いいたします。

東日本大震災発生時の写真



地震被害（小高区内）



地震被害（原町区内）



津波被害（小高区浦尻地内）



津波被害（小高区内）



津波被害（鹿島区小島田地内）



避難所（石神第一小学校体育館）



避難風景（鹿島中学校）



搜索活動（鹿島区小島田地内）

目次

みなさんへ この本を読む前に	表紙裏	
南相馬市の東日本大震災からの復興と願い	1	
東日本大震災発生時の写真	2	
目次	3	
この本のあらまし	4	
報徳仕法史跡案内 原町区地図	6	
鹿島区・小高区地図	8	
第1章 身近な尊徳	10	小学生向け
●身近な尊徳		
第2章 二宮尊徳の生涯	12	
●その生き立ち ●その功績		
第3章 報徳仕法とは	16	
●その教えと実践		
第4章 中村藩の報徳仕法	18	中学生向け
●経緯 ●実施のようす ●はじまり ●水利事業		
●荒至重の測量術 ●成果		
第5章 中村藩の報徳仕法に関わる人々	32	
●富田高慶 斎藤高行 荒 至重		
●相馬益胤 相馬充胤 池田胤直 草野正辰		
●慈隆 熊川胤隆 その他の主な尽力した人々		
第6章 尊徳後の報徳仕法	38	
●二宮家の人々 ●二宮家石神移住		
第7章 報徳仕法に学ぶこと	42	
●報徳記 貧富訓 一円札になった尊徳		
●報徳訓 ●道歌 二宮翁夜話		
第8章 尊徳の評価と影響	48	
●草野正辰の『手控』 ●内村鑑三著『代表的日本人』		
●日本の近代化に与えた影響 ●現代における評価		
第9章 旧中村藩の史跡	56	
●相馬市 浪江町 双葉町		
第10章 学校での学習実践例	60	
●鹿島中学校 ●石神第一小学校 ●上真野小学校		
●大甕小学校		
第11章 博物館へ行こう	62	
●南相馬市博物館		
●相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵		
報徳仕法ワークシート	65	
報徳仕法関連図書	67	
協力者・報徳仕法原町市版関係者・報徳仕法南相馬市版関係者	70	
報徳仕法南相馬市版（改訂版）関係者・あとがき		